

## 平成 23 年度 環境人材育成コンソーシアム事業計画

### 目的

環境人材の育成・活用、ネットワーク形成等の支援を行う産学官民連携プラットフォームとしての環境人材育成コンソーシアム（EcoLeaD）は、環境に関する体系的な知識と鳥瞰的な視野を持ち、現在及び将来の社会が直面する課題に対する問題解決能力を有し、環境保全を通じてビジネスを創出し経済を活性化することのできる環境人材の養成を推進し、これらの人材の活躍を通じて、持続可能な日本とアジアの発展に寄与することを目的として、以下の事業を実施する。

### [1] 総会の開催

総会を年 1 回開催する。総会では、環境人材育成コンソーシアムの会則、事業計画・収支予算及び事業報告・収支決算、役員を選任等を審議、決定する。

### [2] 幹事会の開催

幹事会を年 2 回程度開催する。幹事会は、環境人材育成コンソーシアムの会則、事業計画・収支予算及び事業報告・収支決算を審議し、総会に提案する。また、事業の実施にあたっての具体的な内容を検討し、審議する。

### [3] 広報関係

- HP の更新（随時）  
総会・幹事会・その他行事等の活動報告、EcoLeaD 及び会員のイベント案内等の掲載を行う。
- メールニュースの配信（月に 1~2 回程度）  
EcoLeaD の活動や関連イベントを紹介するとともに、会員がイベント情報や人材募集情報等を掲載できるメールニュースを、会員とその他の希望者に配信する。

### [4] 環境人材育成研究大会（仮称）

環境人材育成に係る先進的な取組を行っている大学、企業等の取組（カリキュラム編成、科目構成、教材開発、フィールドワーク、インターンシップ等の取組状況、成果、課題等）の発表と意見交換のための「環境人材育成交流研究大会（仮称）」を平成 24 年 2 月又は 3 月に開催する。会員以外の大学、企業、NPO、自治体等にも広く参加を呼びかける。大会の内容案は以下のとおり。

- 大学、企業等の環境人材育成に関する取組の発表・討議  
カリキュラム編成、科目構成、教材開発、フィールドワーク、インターンシップ等の取組状況、成果、課題等についての発表及び討議を行う。テーマ別に複数のセッションを設ける。
- 環境人材育成に関する課題の討議  
各大学・企業の取組の発表だけでなく、環境人材育成に関する共通の課題をテーマとして参加者で議論し、解決策を検討、議論するセッションを設ける。

- 教育手法に関する研究発表・討議

日本の大学では、総じて教授方法、教育手法に対する関心が低く、教授方法等に関する研究発表の場も少ないことから、教育プログラムの内容だけでなく、教育手法についても発表及び討議するセッションを設ける。これにより「教育」というサービスを提供する大学において多くの教員が教育手法の重要性を認識し、教育スキル向上を図るような情報発信の場となることを目指す。

- 学生の研究成果発表・討議

会員大学の環境人材育成に関するプログラムの受講生による研究発表及び討議のセッションを設ける。将来的には会員大学のプログラム修了生や卒業生等による体験報告等のセッションも設け、修了生・卒業生による情報交換、ネットワークの場として機能させることを目指す。

- 優秀な発表の表彰

参加者の投票等により、優秀な研究発表について表彰等を行い、我が国における環境人材育成の推進を図る。

- 発表内容の予稿集の作成、公表

発表内容を取りまとめた予稿集(論文集)を作成し、参加者に配布するとともに(CD-ROMを想定)、EcoLeaD のホームページで公表し、その普及を図る。

## [5] 環境人材育成に係る大学意見交換会の開催

環境省と EcoLeaD との共催、一般財団法人持続性推進機構の協力により、環境省事業「環境人材育成のための大学教育プログラム開発事業」における平成 20 年度及び平成 21 年度採択大学(計 11 大学)、その他環境人材育成に積極的に取り組む大学による意見交換会を開催し、環境人材育成に関する各大学の取組の共有、大学における効果的な環境人材育成方策や大学間の連携の可能性等に関する意見交換会を開催する。この意見交換会は、環境人材育成交流研究大会(仮称)と連続した日程で開催する。

## [6] 環境人材育成関連情報の発信

- 環境教育プログラムデータベースの開発・運用

全国の大学、大学院における提供されている環境教育のプログラムに関するデータベースの開発、運用(情報の更新)を行う(掲載プログラム数:約 500)。

EcoLeaD の正会員は、自校の情報を事由に編集することができるとともに、映像・音声等のコンテンツを追加することも可能となっている。

- 環境人材育成先進大学ポータルサイトの作成

正会員の大学、大学院における環境省「環境人材育成のための大学教育プログラム開発事業」、及び文部科学省「戦略的環境リーダー育成拠点形成事業」に関する環境人材育成のためのプログラム情報を日本とアジアの学生向けに日本語と英語で発信するポータルサイトを作成し、公開する。

## [7] 会員間の情報交換の場の開設

- オンラインディスカッショングループの開設

情報収集・提供のための掲示板機能と、1つのテーマを複数の会員間で議論するディスカッショングループ機能を持つ専用サイトを開設する。

- 大学環境人材育成プログラムの学生・修了生の人材データベース構築のための企画調査  
正会員の大学、大学院における学生の就職活動、社会に出た修了生・卒業生の転職活動・ビジネスネットワークキング、企業/卒業生による人材発掘、同窓会、帰国後の留学生とのネットワーク構築等に活用できる、各種検索機能のついた人材（プロフィール）データベースを構築するための企画調査を実施する。
- リソースマッチングサイト開設のための企画調査  
正会員の大学、大学院、企業、NPO/NGO 会員、賛同団体（地方公共団体）からの、フィールドワークのためのフィールド関連情報、共同研究希望情報、大学院コンサルテーションプロジェクトのための課題関連情報、環境報告書ダイアログ希望企業情報等と、これらへの参加・利用・協働を希望する大学会員とをつなぐ、マッチングサイトを開設するための企画調査を実施する。

## [8] セミナー等の開催

環境省と EcoLeaD との共催、一般財団法人持続性推進機構の協力により、産学官民の情報交換及び連携促進等を目的としたセミナー及びシンポジウムを開催する。

- セミナーの開催  
「環境人材の活躍の場の創出に向けて」をメインテーマとして、東北、関東、東海、関西、九州の各地域において各 1 回開催する。
- シンポジウムの開催  
「21 世紀の持続可能なアジアに向けた、産学官民連携による環境人材育成のために」をテーマに、産学官民の環境人材育成に関する情報交換及び連携促進等を目的としたシンポジウムを開催する。プログラムは、基調講演のほか、産学官民の有識者によるラウンドテーブル、EcoLeaD の事業紹介等により構成する。

## [9] 環境力及び GMP ガイドライン普及に係る事業

環境省と EcoLeaD の共催、一般財団法人持続性推進機構の協力により、東北、関東、東海、関西、九州の各地域において各 1 回、環境力ガイドライン及び GMP ガイドラインに関する説明会を開催し、その普及を図る。

また、同じく環境省と協働し、「環境力ガイドライン 2010 年度版」「GMP ガイドライン 2010 年度版」の普及媒体を作成し、その普及を図る。

- ガイドライン英語版の作成
- 日本語版・英語版パンフレットの作成
- ガイドラインの概要を紹介するウェブサイト掲載用動画コンテンツの作成

さらに、一般財団法人持続性推進機構が実施する以下の事業に協力し、その普及を図る。

- ガイドラインに則したテキスト・教材の開発
- ガイドラインに則したコース認定と修了生の資格認定の検討
- 大学院生を対象とした鳥瞰型サマースクールの開催準備（来春～来夏開催予定）
- 企業エグゼクティブ向け集中セミナーの開催準備（来春～来夏開催予定）

- 企業環境経営担当者向け夜間・週末セミナーの開催準備（来春～来夏開催予定）

#### **[10] 国際交流・協力事業**

一般財団法人持続性推進機構の協力により環境人材育成関連会合、その他の国際会議に積極的に出席し、EcoLeaD の取組を紹介するとともに、他機関の取組情報を収集し、交流を深め、環境人材育成のための国際的ネットワークの構築を図る。

- アジア環境大学院ネットワーク（ProSPER.Net） 総会、理事会への参加
- 日中韓環境教育ネットワーク（TEEN）シンポジウムへの参加
- TEEN ワークショップに参加する学生への教育支援

#### **[11] 入会呼びかけ**

準備会会員、準備会呼びかけ人、環境省 11 大学、文科省 17 大学、HESD フォーラム会員、日本環境教育学会会員等に個別に呼びかける他、シンポジウムやセミナー等のイベント開催の機会に広く入会を呼びかける。

以上